

令和4年3月市議会定例会

上下水道局 議案説明資料 (当初予算分)

目次

I	令和4年度当初予算(案)総括表	1頁
II	有収水量と料金収入	2頁
III	水道事業会計	
1	令和4年度当初予算(案)総括表	3頁
2	令和4年度建設改良事業	5頁
IV	工業用水道事業会計	
1	令和4年度当初予算(案)総括表	19頁
2	令和4年度建設改良事業	21頁
V	公共下水道事業会計	
1	令和4年度当初予算(案)総括表	23頁
2	令和4年度建設改良事業	25頁
VI	その他	
1	富山市水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に 関する条例の一部を改正する条例制定の件	40頁

I 令和4年度当初予算(案)総括表

(単位:千円)

		令和4年度①	令和3年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
水道事業会計	収益的収支	事業収益 A	7,656,122	7,603,270	52,852	0.70
		事業費用 B	7,158,157	7,168,764	△ 10,607	△ 0.15
		差引損益(税込) A-B	497,965	434,506	63,459	14.60
		純利益(税抜)	208,708	144,292	64,416	44.64
	資本的収支	資本の収入 C	3,199,810	2,927,587	272,223	9.30
		資本の支出 D	7,032,911	6,848,536	184,375	2.69
		差引収支(税込) C-D	△ 3,833,101	△ 3,920,949	87,848	2.24

(単位:千円)

		令和4年度①	令和3年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
工業用水道事業会計	収益的収支	事業収益 A	477,371	480,253	△ 2,882	△ 0.60
		事業費用 B	336,416	353,534	△ 17,118	△ 4.84
		差引損益(税込) A-B	140,955	126,719	14,236	11.23
		純利益(税抜)	134,620	121,205	13,415	11.07
	資本的収支	資本の収入 C	20,017	20,001	16	0.08
		資本の支出 D	225,936	239,442	△ 13,506	△ 5.64
		差引収支(税込) C-D	△ 205,919	△ 219,441	13,522	6.16

(単位:千円)

		令和4年度①	令和3年度②	差引増減 ①-②	伸率(%)	
公共下水道事業会計	収益的収支	事業収益 A	16,653,886	16,602,219	51,667	0.31
		事業費用 B	14,552,685	14,654,875	△ 102,190	△ 0.70
		差引損益(税込) A-B	2,101,201	1,947,344	153,857	7.90
		純利益(税抜)	1,870,890	1,739,485	131,405	7.55
	資本的収支	資本の収入 C	7,428,855	7,928,635	△ 499,780	△ 6.30
		資本の支出 D	14,978,627	15,630,910	△ 652,283	△ 4.17
		差引収支(税込) C-D	△ 7,549,772	△ 7,702,275	152,503	1.98

II 有収水量と料金収入

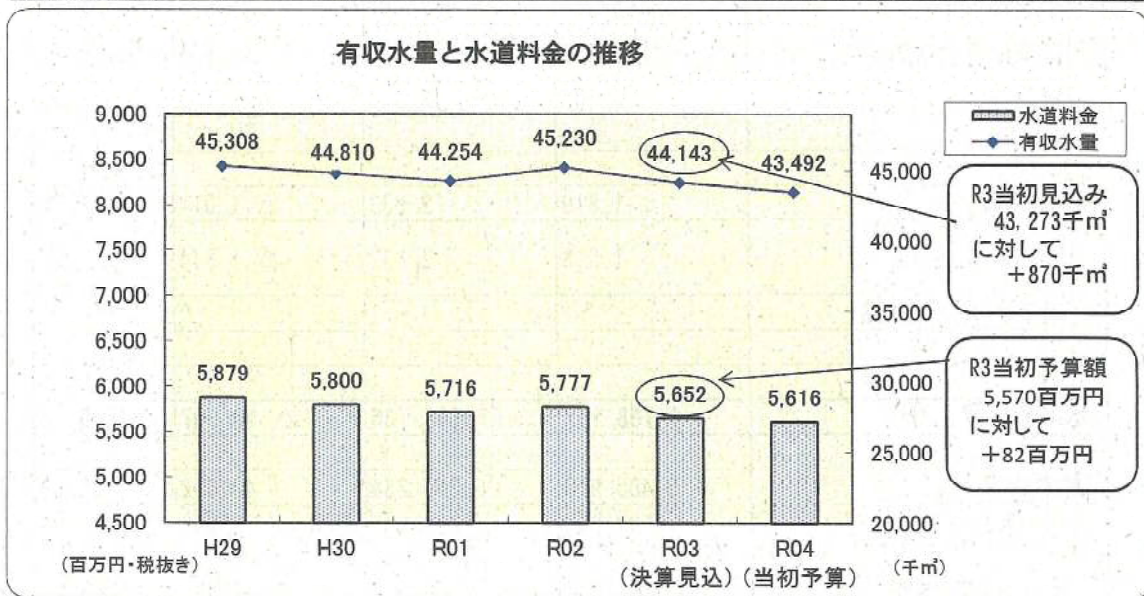
水道の有収水量と料金収入については、28年度以降、人口減による減少要因はあるものの、減少幅は鈍化傾向にあったが、元年度から人口減少率が拡大し(H28～H30平均:△0.11%、R1:△0.35%、R2:△0.44%、R3:△0.58%)、その減少幅は増加してきている。(※2年度は大雪及び新型コロナ等の特殊要因により増加)
また、下水道の有収水量と使用料収入については、未接続世帯からの新規接続などにより、横ばいの傾向にあったが、水道同様、元年度からの人口減少率の拡大とともに、減少傾向となりつつある。

3年度は、新型コロナの影響が弱まり、巣ごもり需要の低下から家事用の使用量は減少しているものの、事業用・官公庁用の使用量が回復し、当初予算額を上回る見込みである。なお、前年度比では、大雪の影響が大きく、年間の有収水量及び料金収入ともに減少を見込む。

4年度は、ワクチン接種の状況や行動制限の緩和などから、コロナの影響は収まるものと見込むが、引き続き、人口減少率が高く推移することを想定し、3年度決算見込額に対し、水道料金は0.6%減(元年度比(コロナ前)△1.8%)、下水道使用料は0.1%増(元年度比△1.1%)を見込んだ。

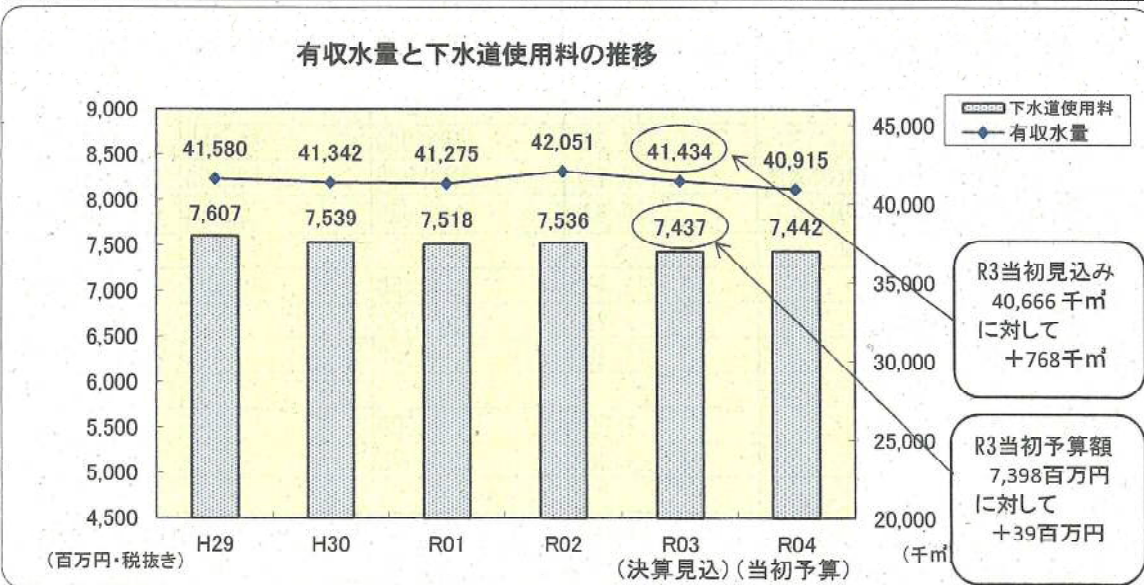
◇有収水量と水道料金の推移(令和3年度は決算見込、4年度は当初予算)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
有収水量(千㎡)	45,308	44,810	44,254	45,230	44,143	43,492
対前年度比(%)	100.96	98.90	98.76	102.21	97.60	98.53
水道料金(税抜:千円)	5,879,233	5,799,937	5,715,987	5,776,543	5,652,298	5,616,000
対前年度比(%)	101.30	98.65	98.55	101.06	97.85	99.36



◇有収水量と下水道使用料の推移(令和3年度は決算見込、4年度は当初予算)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
有収水量(千㎡)	41,580	41,342	41,275	42,051	41,434	40,915
対前年度比(%)	101.09	99.43	99.84	101.88	98.53	98.75
下水道使用料(税抜:千円)	7,607,177	7,538,690	7,518,402	7,535,620	7,437,401	7,442,000
対前年度比(%)	101.54	99.10	99.73	100.23	98.70	100.06



III 水道事業会計

1 令和4年度当初予算(案)総括表

(1) 収益的収支

(単位：千円)

科 目	令和4年度 当初予算(案)①	令和3年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
水道事業収益	7,656,122	7,603,270	52,852	0.70
営業収益	6,591,100	6,505,655	85,445	1.31
給水収益	6,178,108	6,127,517	50,591	0.83
受託工事収益	11,705	12,117	△412	△3.40
受託事業収益	791	619	172	27.79
その他営業収益	400,496	365,402	35,094	9.60
営業外収益	1,063,203	1,094,782	△31,579	△2.88
受取利息	100	100	0	0.00
※一般会計負担金	22,690	25,180	△2,490	△9.89
水道加入金	190,531	202,862	△12,331	△6.08
長期前受金戻入	846,750	863,286	△16,536	△1.92
雑収益	3,132	3,354	△222	△6.62
特別利益	1,819	2,833	△1,014	△35.79
固定資産売却益	1,818	2,832	△1,014	△35.81
過年度損益修正益	1	1	0	—
水道事業費	7,158,157	7,168,764	△10,607	△0.15
営業費用	6,406,916	6,366,234	40,682	0.64
原水及び浄水費	592,009	597,768	△5,759	△0.96
配水及び給水費	861,156	836,289	24,867	2.97
受託工事費	18,782	19,290	△508	△2.63
業務費	555,079	477,793	77,286	16.18
総係費	294,770	295,541	△771	△0.26
減価償却費	3,725,575	3,736,935	△11,360	△0.30
資産減耗費	359,540	402,613	△43,073	△10.70
その他営業費用	5	5	0	—
営業外費用	738,798	790,080	△51,282	△6.49
支払利息及び企業債取扱諸費	588,760	641,455	△52,695	△8.21
消費税及び地方消費税	150,038	148,625	1,413	0.95
特別損失	11,443	11,450	△7	△0.06
固定資産売却損	243	250	△7	△2.80
過年度損益修正損	11,200	11,200	0	—
予備費	1,000	1,000	0	—
予備費	1,000	1,000	0	—
差引損益	497,965	434,506	63,459	14.60
(税抜純利益)	(208,708)	(144,292)	(64,416)	

(2) 資本の収支

(単位：千円)

科 目	令和4年度 当初予算(案)①	令和3年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本の収入	3,199,810	2,927,587	272,223	9.30
企業債	2,587,400	2,310,400	277,000	11.99
企業債	2,587,400	2,310,400	277,000	11.99
他会計出資金	81,769	79,807	1,962	2.46
※ 他会計出資金	81,769	79,807	1,962	2.46
他会計負担金	14,900	20,900	△ 6,000	△ 28.71
他会計負担金	14,900	20,900	△ 6,000	△ 28.71
固定資産売却代金	2,806	4,595	△ 1,789	△ 38.93
固定資産売却代金	2,806	4,595	△ 1,789	△ 38.93
国庫補助金	475,900	400,260	75,640	18.90
国庫補助金	475,900	400,260	75,640	18.90
工事負担金	37,035	111,625	△ 74,590	△ 66.82
工事負担金	37,035	111,625	△ 74,590	△ 66.82
資本の支出	7,032,911	6,848,536	184,375	2.69
建設改良費	4,545,099	4,429,741	115,358	2.60
配水施設事務費	198,585	200,486	△ 1,901	△ 0.95
配水施設費	4,106,077	4,037,391	68,686	1.70
設備費	8,250	25,557	△ 17,307	△ 67.72
固定資産購入費	208,263	160,844	47,419	29.48
建設負担金	23,924	5,463	18,461	337.93
企業債償還金	2,487,812	2,418,795	69,017	2.85
企業債償還金	2,487,812	2,418,795	69,017	2.85
差 引	△ 3,833,101	△ 3,920,949	87,848	2.24

補てん財源	3,833,101	3,920,949	△ 87,848	△ 2.24
当年度消費税及び地方消費税資本の収支調整額	343,996	330,511	13,485	4.08
過年度分損益勘定留保資金	854,644	1,319,318	△ 464,674	△ 35.22
当年度分損益勘定留保資金	2,634,461	2,271,120	363,341	16.00

〔参考〕

	令和4年度①	令和3年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	104,459	104,987	△ 528

2 令和4年度 建設改良事業

水道事業会計（建設改良費）

45億5千万円

I 水道施設の耐震化 3,523,408千円

- (1) 配水幹線の整備 2,010,200千円
- (2) 配水管網の整備 222,000千円
- (3) 老朽水道管の整備 1,018,230千円
- (4) 老朽基幹施設の改良 272,978千円

II 危機管理体制の強化 358,979千円

- (1) 防災拠点機能の整備 358,979千円

III 水源の水質向上 91,574千円

- (1) 配水ブロックの整備 91,574千円

IV その他 571,138千円

- (1) 他工事関連事業 138,945千円
- (2) 人件費、事務費等 432,193千円

【建設改良費対前年度比較表】

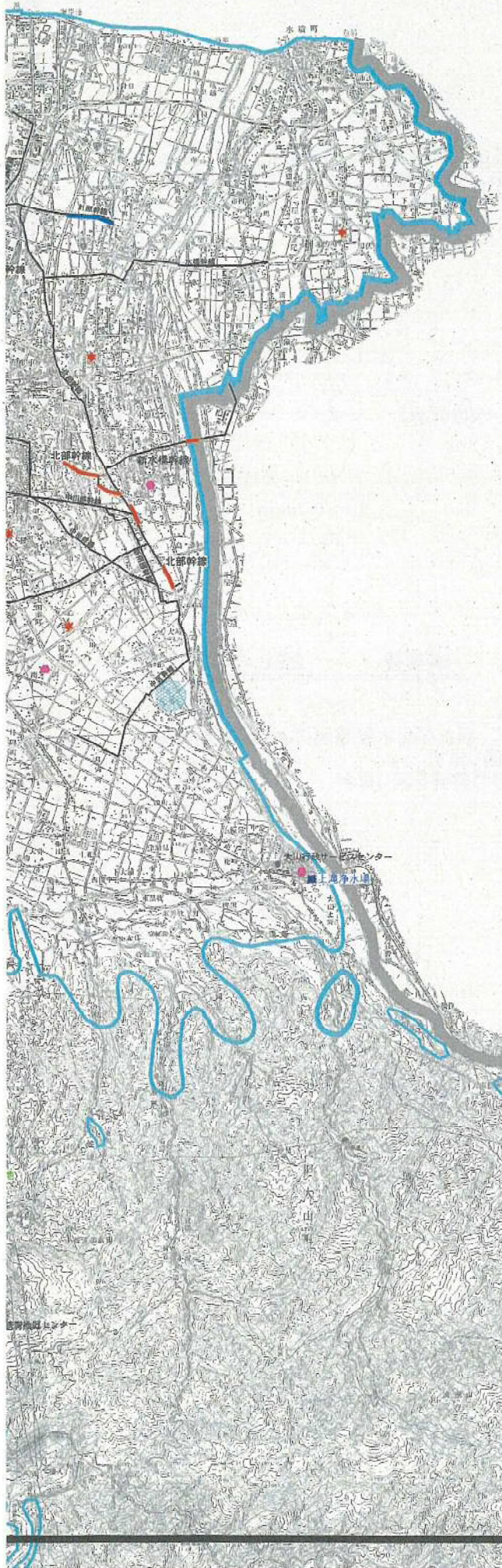
(単位:千円)

事業名		令和4年度 当初予算①	令和3年度 当初予算②	比較増減①-②	
水道事業会計 (建設改良費)	I 水道施設の耐震化	3,523,408	3,068,381	455,027	
	(1) 配水幹線の整備	事業費	2,010,200	1,775,980	234,220
		概要	・北部幹線(更新)外 L=4.45Km ・開削部実施設計(北部幹線)外 ・新水橋幹線(新設) L=0.25Km	・古沢幹線(更新)外 L=3.66Km ・横断等実施設計(北部幹線) ・空洞調査(南部幹線) ・新水橋幹線(新設) L=1.60Km	
	(2) 配水管網の整備	事業費	222,000	180,800	41,200
		概要	・管網整備 L=2.42Km	・管網整備 L=1.90Km	
	(3) 老朽水道管の整備	事業費	1,018,230	1,046,701	△ 28,471
		概要	・老朽ビニル管等の布設替 L=6.72Km ・老朽添架管の架替 L=0.07Km	・老朽ビニル管等の布設替 L=7.35Km ・老朽添架管の架替 L=0.02Km	
	(4) 老朽基幹施設の改良	事業費	272,978	64,900	208,078
		概要	・東上下水道サービスセンター中央監視設備移設 ・上滝浄水場外の更新実施設計 外	・下井田新第2水源の場内整備 外 ・蓮花寺中継ポンプ場の設備更新	
	II 危機管理体制の強化		358,979	442,386	△ 83,407
	(1) 防災拠点機能の整備	事業費	358,979	442,386	△ 83,407
		概要	・防災拠点管路の整備 L=1.50Km ・遠方監視装置の更新 ・応急給水用資材の購入	・防災拠点管路の整備 L=2.35Km ・遠方監視装置の更新 ・応急給水用資材の購入	
	III 水源の水質向上		91,574	152,844	△ 61,270
	(1) 配水ブロックの整備	事業費	91,574	152,844	△ 61,270
		概要	・細入配水ブロックの整備 ・八尾配水ブロックの整備	・細入配水ブロックの整備 ・西笹津加圧場の実施設計	
IV その他		571,138	766,130	△ 194,992	
(1) 他工事関連事業	事業費	138,945	377,030	△ 238,085	
	概要	・物件移転補償に伴う布設替 L=1.37Km	・物件移転補償に伴う布設替 L=2.20Km		
(2) 人件費、事務費等	事業費	432,193	389,100	43,093	
	概要	・人件費、事務費、固定資産購入費等	・人件費、事務費、固定資産購入費等		
建設改良費 合計		4,545,099	4,429,741	115,358	

令和4年度 水道事業会計主要事業箇所図



39



(千円)

分類	凡例	数量	当初予算額	
			3条	4条
令和 四年 度	配水幹線の整備 <small>(禁止)</small>	4,700m	—	2,010,200
		1,380m	210,050	—
	配水管網の整備	2,420m	—	222,000
	老朽水道管の整備	6,790m	—	1,018,230
	老朽基幹施設の改良	2箇所	7,000	272,978
主 要 事 業	(拠点管路) 危機管理体制の強化	1,495m	19,000	280,900
	(遠方監視) 防災拠点機能の整備	5箇所	—	74,350
	(応急給水用資材) 水源の水質向上	1式	—	3,729
そ の 他	老朽給水管の整備	20箇所	10,000	—
	他工事関連	1,365m	94,610	138,945
	事務費	1式	6,725	22,769
合 計			367,385	4,135,675

行政区域
 給水区域

I 水道施設の耐震化

(1) 配水幹線の整備

事業費 2,010,200 千円

配水幹線は、老朽化に伴う漏水事故が発生していることに加え、大規模地震発生時においても広い範囲に影響を及ぼすことから、配水幹線の更新及び新たな配水幹線網の整備による耐震化を進めることにより、安定給水の確保と耐震化率の向上を図ります。

令和4年度事業の概要

(ア)配水幹線の更新	1,844,700千円
・ 北部幹線、古沢幹線、婦中幹線	L= 4.45km
・ 基本設計業務委託(南部幹線)	一式
・ 実施設計業務委託(北部幹線、古沢幹線、水橋幹線)	一式
(イ)配水幹線の新設	165,500千円
・ 新水橋幹線	L= 0.25km
・ 実施設計業務委託(新水橋幹線)	一式

(2) 配水管網の整備

事業費 222,000 千円

大規模地震発生時においても給水を確保するために、新たな配水管整備による配水管のループ化を推進することにより、強靱な水道施設の構築を図ります。
また、新規給水要望に対応するための新たな配水管の整備を図ります。

令和4年度事業の概要

(ア)配水管網の整備	222,000千円
・ 配水管の新設	L= 2.42km

(3) 老朽水道管の整備

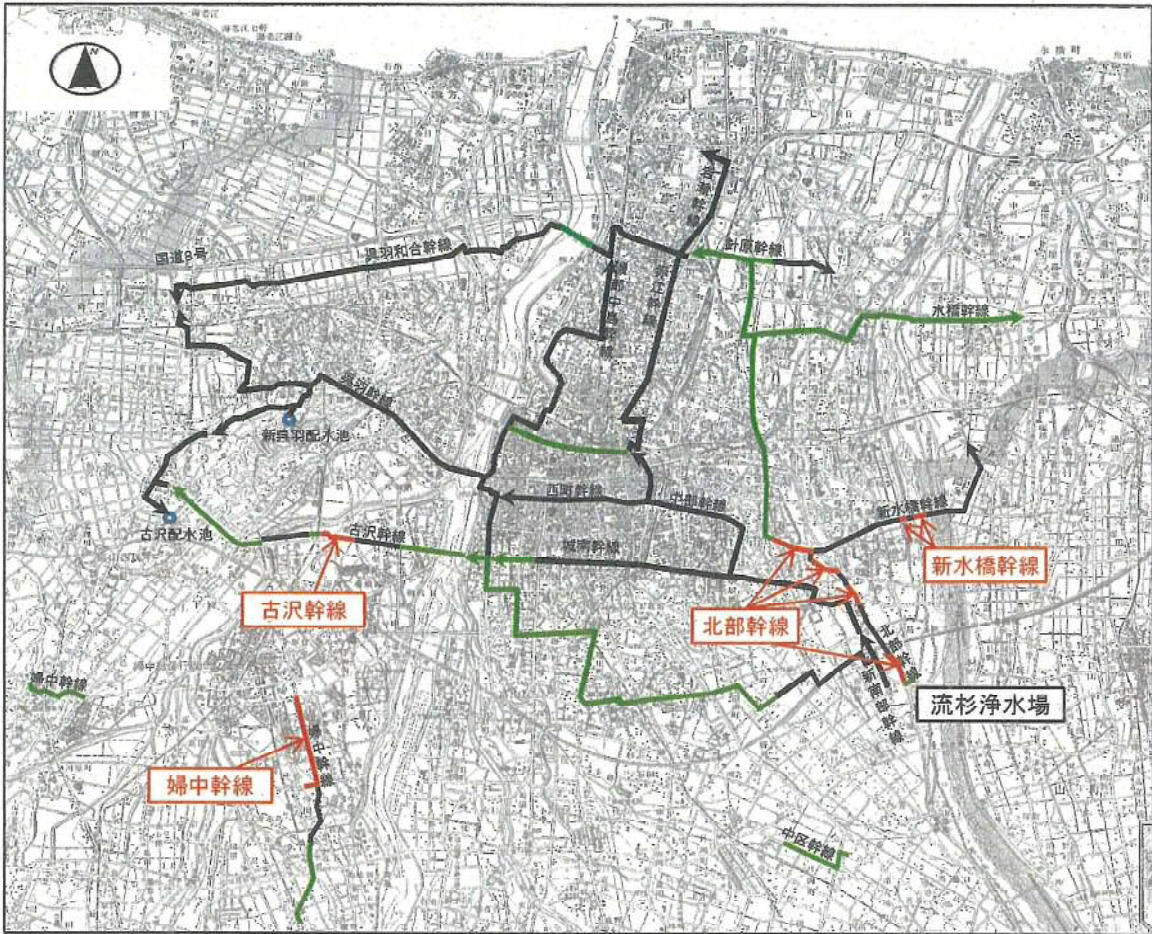
事業費 1,018,230 千円

老朽水道管について、耐用年数、布設経過年数、漏水事故発生状況等を考慮の上、計画的に更新を進めるとともに、大規模地震発生時においても給水を確保するために耐震化を推進することにより、強靱な水道施設の構築を図ります。

令和4年度事業の概要

(ア)老朽水道管の整備	
①老朽ビニル管等の布設替	959,570千円
・ 老朽管布設替工事	L=6.72km
②老朽添架管の架替	58,660千円
・ 添架管架替工事	L=0.07km

令和4年度 配水幹線整備箇所図



凡 例	
— (黒色)	令和3年度迄施工済区間
— (赤色)	令和4年度施工予定区間
— (緑色)	令和5年度以降施工予定区間

配水幹線整備の推移

(第2次富山市総合計画)

	H28実績	H29実績	H30実績	R01実績	R02実績	R03見込	R04計画	R05計画	R06計画	R07計画	R08計画
耐震管延長(km)	41.0	53.1	57.5	60.6	63.8	67.9	73.4	78.2	82.9	88.2	94.7
全体延長(km)	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3
耐震化率(%)	40.1%	51.9%	56.2%	59.2%	62.4%	66.4%	71.7%	76.4%	81.0%	86.2%	92.6%

配水幹線の施工状況



(4) 老朽基幹施設の改良

事業費 272,978 千円

配水池や浄水場などの基幹施設は、その多くが昭和30年代から50年代にかけて建設され、大規模な更新時代を迎えています。
このため、将来の水需要を見極めた基幹施設の再構築とともに、施設の耐震化を計画的に進めることにより、災害に強く、より質の高い水道水の安定供給を図ります。

令和4年度事業の概要

(ア)老朽基幹施設の更新	272,978千円
・ 東上下水道サービスセンター(大沢野地域) 中央監視設備移設工事 【R4～R5継続費】	
・ 上滝浄水場外(大山地域)	更新実施設計業務委託
・ 下井田新第1水源(八尾地域)	場内整備工事 場内配管工事 電気設備工事
・ 下井田新浄水場(八尾地域)	更新実施設計業務委託

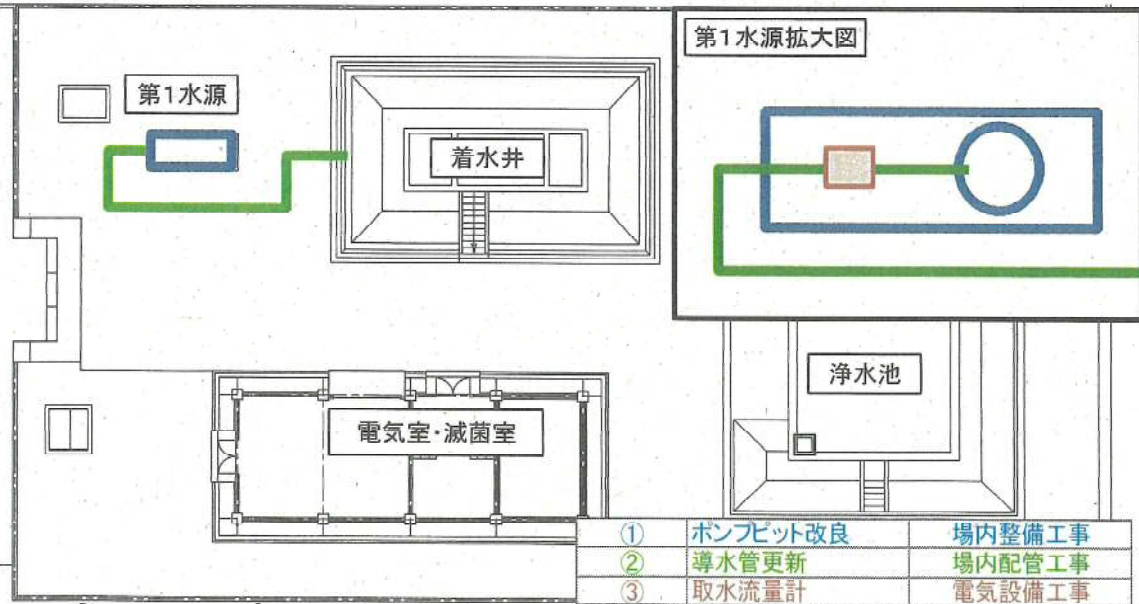
下井田新第1水源施設更新工事

(ア)老朽基幹施設の更新

位置図



平面図



Ⅱ 危機管理体制の強化

(1) 防災拠点機能の整備

事業費 358,979 千円

大規模地震発生時に求められる復旧活動の充実を図るため、配水幹線と避難所等の給水拠点を結ぶ管路(配水支管)の耐震化を優先的に推進するとともに、活動拠点の管理機能を充実させることにより、防災拠点の危機管理機能の強化と充実を図ります。

令和4年度事業の概要

(ア) 防災拠点管路の整備 280,900千円

- ・ 給水拠点接続管耐震化工事(富山地域) L=1.50km

(イ) 遠方監視装置の更新 74,350千円

- ・ 遠方監視装置更新工事(婦中地域:計5施設)

古里低区配水池(婦中地域)

遠方監視装置更新工事

古里浄水場(婦中地域)

遠方監視装置更新工事

羽根第3水源(婦中地域)

遠方監視装置更新工事

千里調整池(婦中地域)

遠方監視装置更新工事

西上下水道サービスセンター(婦中地域)

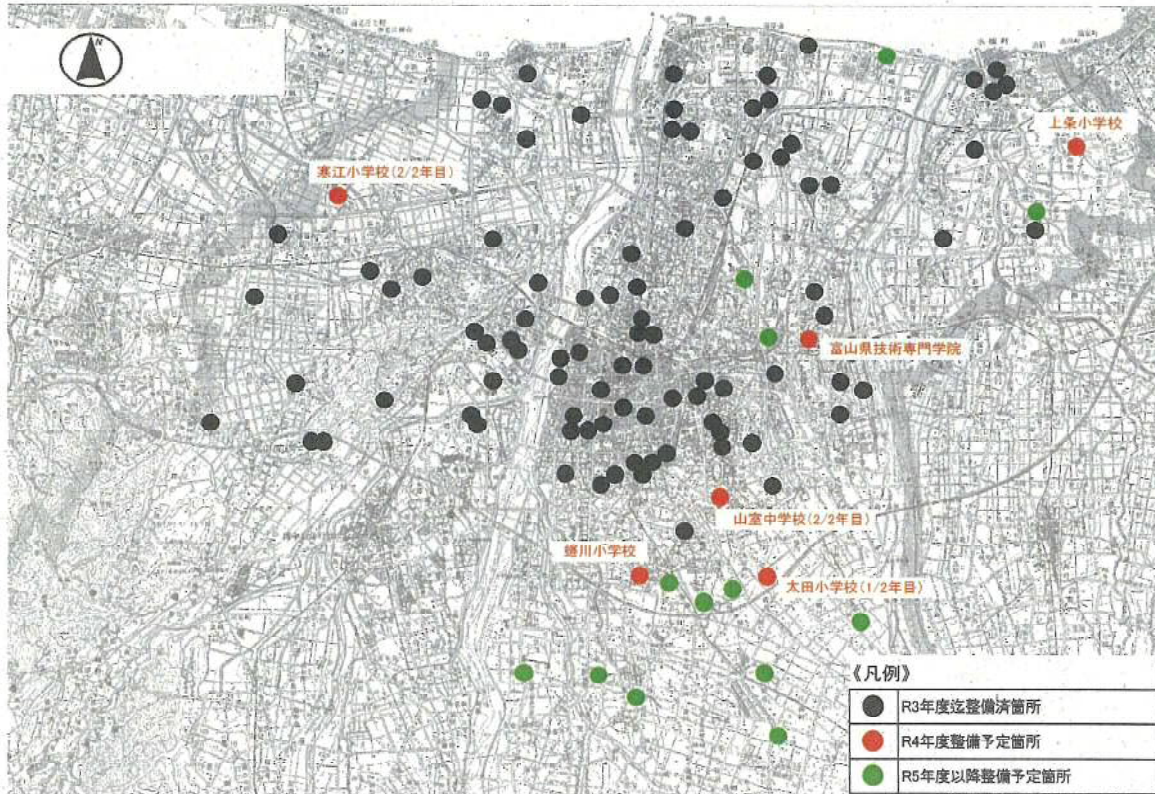
遠方監視装置更新工事

(ウ) 応急給水用資材の購入 3,729千円

- ・ 応急給水用コンテナ 一式

防災拠点機能の整備箇所図

(ア) 防災拠点管路の整備



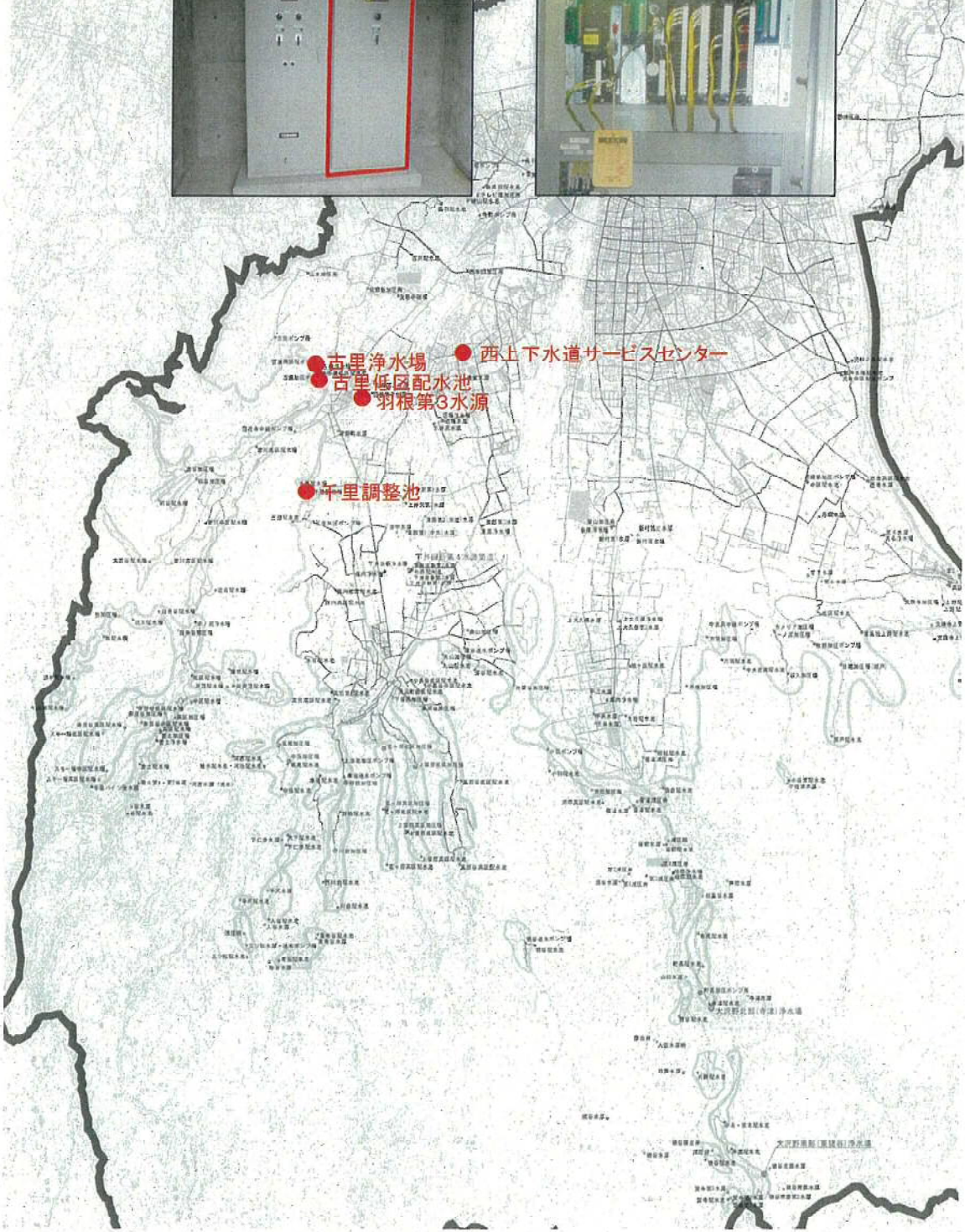
整備計画

令和3年度迄	整備済箇所	89箇所	合計 108箇所
令和4年度	山室中学校 (2/2年目)	4箇所	
	寒江小学校 (2/2年目)		
	蟻川小学校		
	上条小学校		
	太田小学校 (1/2年目)	15箇所	
	富山県技術専門学院 (1/2年目)		
令和5年度 ～令和8年度	整備予定箇所		



防災拠点機能の整備箇所図

(イ) 遠方監視装置の更新



Ⅲ 水源の水質向上

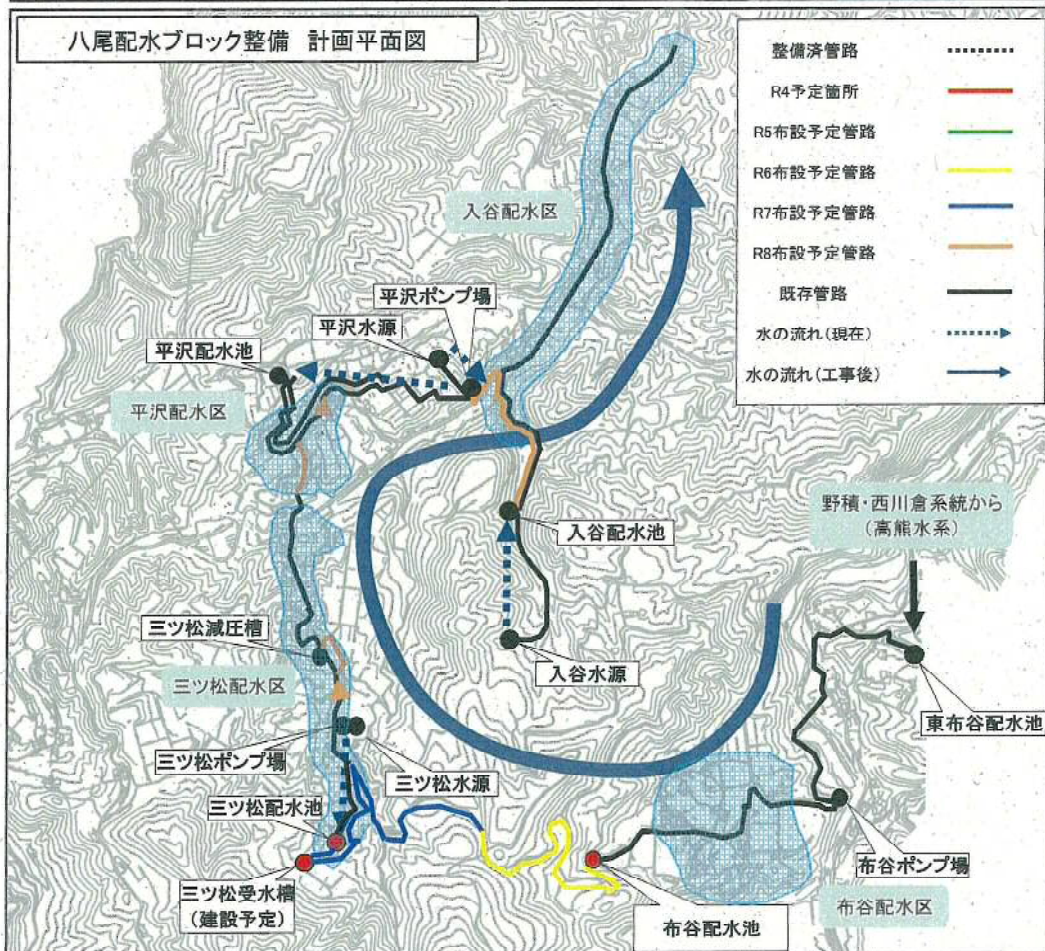
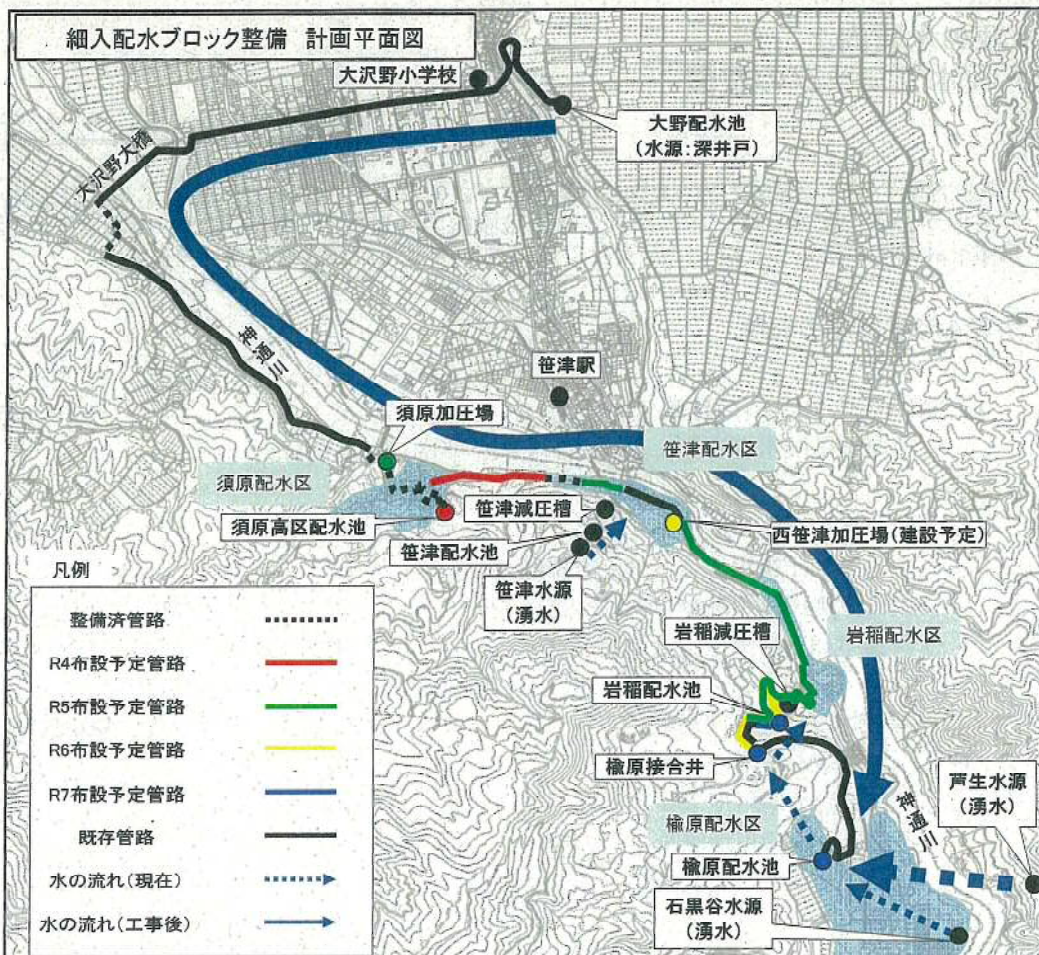
(1) 配水ブロックの整備

事業費 91,574 千円

浄水方法や配水系統をもとに大別した各配水ブロックのうち、水源の水量不足や水質悪化への対応が必要な配水ブロックについて、浄水施設能力の増強や、隣接ブロックの統合による再構築を計画的に進めることにより、安全で質の高い水道水の安定供給を図ります。

令和4年度事業の概要

(ア) 細入配水ブロックの整備		74,970千円
・ 須原地区配水管布設工事	L=0.62km	
・ 西笹津加圧場用地取得	一式	
・ 西笹津加圧場用地公共嘱託登記業務委託	一式	
・ 西笹津加圧場用地測量業務委託	一式	
・ 西笹津加圧場実施設計業務委託	一式	
(イ) 八尾配水ブロックの整備		16,604千円
・ 三ツ松受水槽用地取得	一式	
・ 三ツ松受水槽用地公共嘱託登記業務委託	一式	
・ 三ツ松受水槽用地測量業務委託	一式	
・ 布谷配水池外改良実施設計業務委託	一式	



余 白

IV 工業用水道事業会計

1 令和4年度当初予算(案)総括表

(1) 収益の収支

(単位：千円)

科 目	令和4年度 当初予算(案)①	令和3年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
工業用水道事業収益	477,371	480,253	△ 2,882	△ 0.60
営業収益	452,008	452,008	0	0.00
給水収益	452,008	452,008	0	—
営業外収益	25,363	28,245	△ 2,882	△ 10.20
※ 受取利息	200	200	0	—
※ 一般会計負担金	120	0	120	皆増
長期前受金戻入	24,406	27,456	△ 3,050	△ 11.11
雑収益	637	589	48	—
特別利益	0	0	0	
その他特別利益	0	0	0	
工業用水道事業費	336,416	353,534	△ 17,118	△ 4.84
営業費用	301,222	316,782	△ 15,560	△ 4.91
取配水費	127,368	150,452	△ 23,084	△ 15.34
業務費	16,232	16,790	△ 558	△ 3.32
減価償却費	128,420	136,648	△ 8,228	△ 6.02
資産減耗費	29,202	12,892	16,310	126.51
営業外費用	31,820	34,509	△ 2,689	△ 7.79
支払利息及び企業債取扱諸費	9,091	11,743	△ 2,652	△ 22.58
消費税及び地方消費税	22,729	22,766	△ 37	△ 0.16
特別損失	3,274	2,143	1,131	52.78
固定資産売却損	3,274	2,143	1,131	52.78
予備費	100	100	0	—
予備費	100	100	0	—
差引損益	140,955	126,719	14,236	11.23
(税抜純利益)	(134,620)	(121,205)	(13,415)	

(2) 資本的収支

(単位：千円)

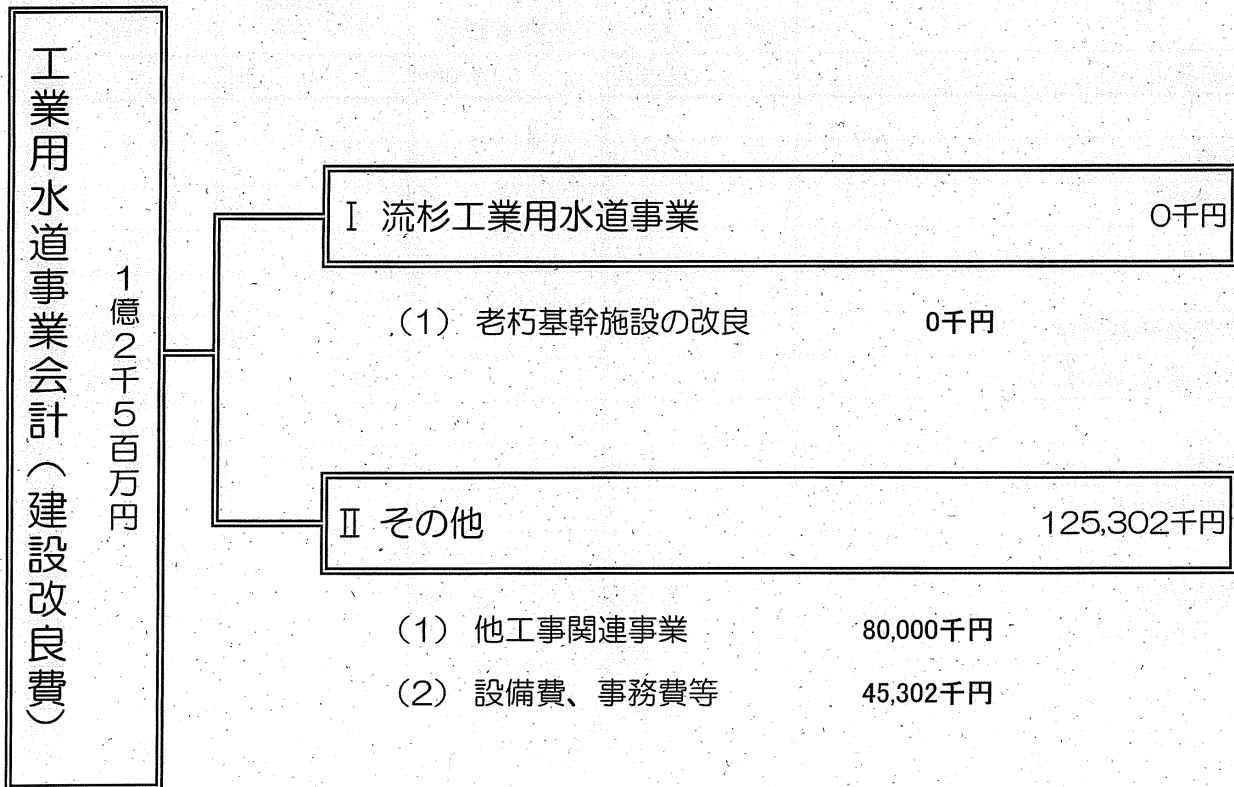
科 目	令和4年度 当初予算(案)①	令和3年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本的収入	20,017	20,001	16	0.08
企業債	0	0	0	-
企業債	0	0	0	-
固定資産売却代金	17	1	16	1,600.00
固定資産売却代金	17	1	16	1,600.00
補助金	0	0	0	-
国庫補助金	0	0	0	-
工事負担金	20,000	20,000	0	0.00
工事負担金	20,000	20,000	0	0.00
資本的支出	225,936	239,442	△ 13,506	△ 5.64
建設改良費	125,302	116,224	9,078	7.81
設備費	45,302	51,674	△ 6,372	△ 12.33
取配水施設費	80,000	64,550	15,450	23.93
企業債償還金	100,634	123,218	△ 22,584	△ 18.33
企業債償還金	100,634	123,218	△ 22,584	△ 18.33
差 引	△ 205,919	△ 219,441	13,522	6.16

補てん財源	205,919	219,441	△ 13,522	△ 6.16
減債積立金の取崩	0	25,841	△ 25,841	△ 100.00
当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	9,568	8,743	825	9.44
過年度分損益勘定留保資金	196,351	184,857	11,494	6.22

〔参考〕

	令和4年度①	令和3年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	120	0	120

2 令和4年度 建設改良事業



【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

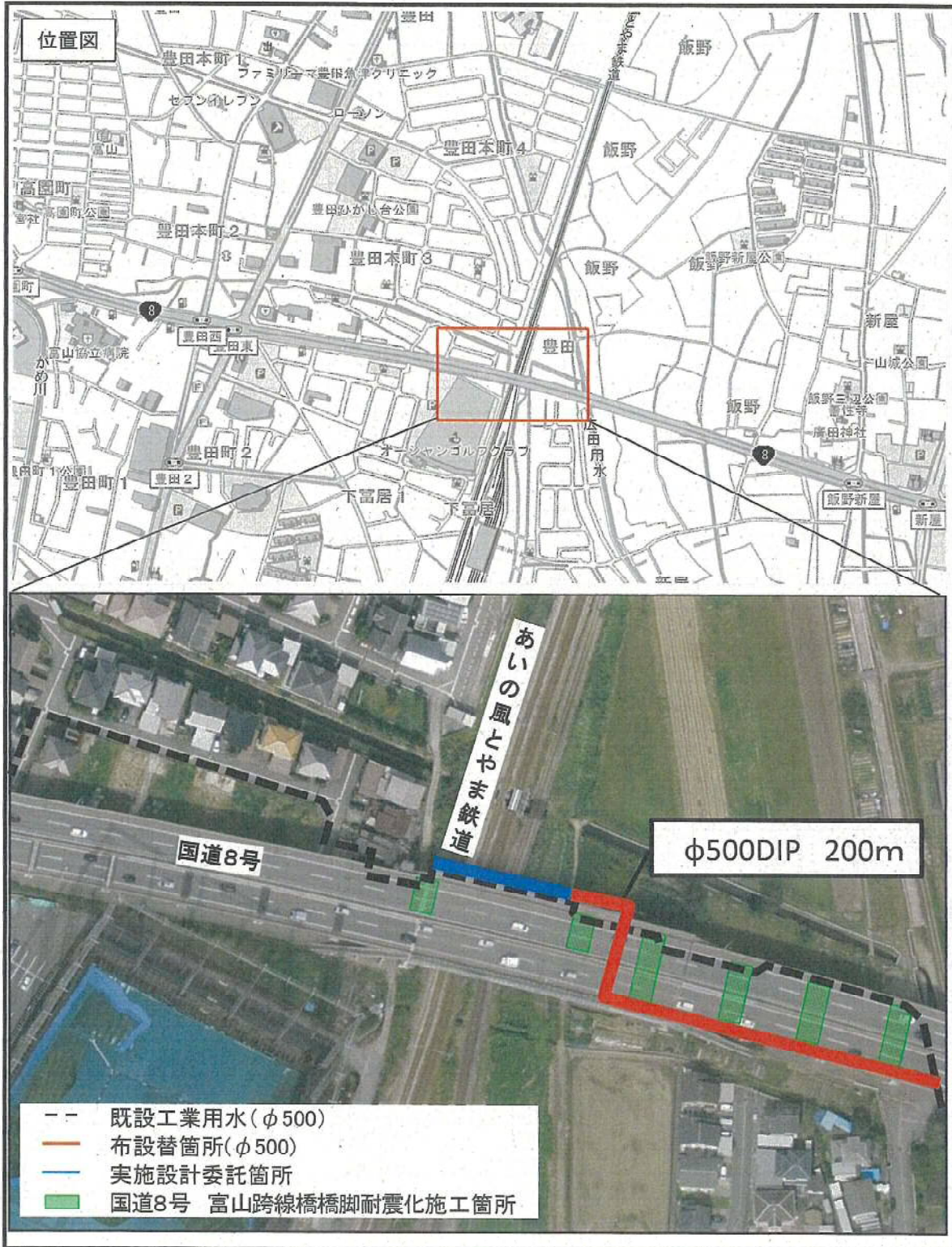
事業名		令和4年度 当初予算①	令和3年度 当初予算②	比較増減①-②	
工業用水道事業会計（建設改良費）	I 流杉工業用水道事業				
	(1) 老朽基幹施設の改良	事業費			
		概要			
	II その他				
	(1) 他工事関連事業	事業費	80,000	64,550	15,450
		概要	・物件移転補償に伴う布設替 L=0.20Km ・実施設計(あいの風とやま鉄道横断)	・物件移転補償に伴う布設替 L=0.15Km ・実施設計(あいの風とやま鉄道横断)	
(2) 設備費、事務費等	事業費	45,302	51,674	△ 6,372	
	概要	・固定資産購入費、事務費等	・固定資産購入費、事務費等		
建設改良費 合計		125,302	116,224	9,078	

1 その他

(1) 他工事関連事業

事業費 80,000 千円

国道8号豊田新屋立体事業において支障となる配水管の移転に係る実施設計及び工事を実施します。



V 公共下水道事業会計

1 令和4年度当初予算(案)総括表

(1) 収益的収支

(単位:千円)

科 目	令和4年度 当初予算(案)①	令和3年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
下水道事業収益	16,653,886	16,602,219	51,667	0.31
営業収益	12,033,132	11,876,628	156,504	1.32
※ 下水道収益	8,186,200	8,137,800	48,400	0.59
※ 一般会計負担金	3,432,266	3,391,634	40,632	1.20
※ 受託事業収益	236,619	231,698	4,921	2.12
※ その他営業収益	178,047	115,496	62,551	54.16
営業外収益	4,620,754	4,725,591	△ 104,837	△ 2.22
※ 受取利息	100	100	0	0.00
※ 一般会計負担金	1,139,140	1,317,217	△ 178,077	△ 13.52
※ 一般会計補助金	54,198	62,310	△ 8,112	△ 13.02
※ 国庫補助金	0	5,000	△ 5,000	△ 100.00
※ 長期前受金戻入	3,350,708	3,276,691	74,017	2.26
※ 雑収益	76,608	64,273	12,335	19.19
特別利益	0	0	0	0.00
下水道事業費	14,552,685	14,654,875	△ 102,190	△ 0.70
営業費用	12,745,233	12,632,359	112,874	0.89
管渠費	280,953	228,980	51,973	22.70
ポンプ場費	270,021	281,430	△ 11,409	△ 4.05
浜黒崎浄化センター費	1,324,658	1,283,948	40,710	3.17
倉垣浄水園費	0	56,175	△ 56,175	皆減
水橋浄化センター費	169,709	177,215	△ 7,506	△ 4.24
大沢野浄化センター費	123,320	121,745	1,575	1.29
大山処理場費	60,200	59,666	534	0.89
小見浄化センター費	14,889	14,547	342	2.35
山田浄化センター費	25,852	22,831	3,021	13.23
楡原浄化センター費	13,308	9,337	3,971	42.53
南部地区浄化センター費	8,639	7,582	1,057	13.94
流域下水道管理費負担金	825,669	822,102	3,567	0.43
水洗化促進費	23,715	24,370	△ 655	△ 2.69
排水設備指導費	36,430	31,511	4,919	15.61
業務費	289,027	247,268	41,759	16.89
総係費	199,213	194,777	4,436	2.28
減価償却費	8,695,394	8,712,585	△ 17,191	△ 0.20
資産減耗費	152,758	109,372	43,386	39.67
地域し尿処理施設費	9,791	9,458	333	3.52
農業集落排水事業費	219,063	214,616	4,447	2.07
林業集落排水事業費	1,524	1,744	△ 220	△ 12.61
富山八尾中核工業団地排水施設管理費	1,100	1,100	0	0.00
営業外費用	1,790,452	2,005,508	△ 215,056	△ 10.72
支払利息及び企業債取扱諸費	1,509,912	1,717,119	△ 207,207	△ 12.07
消費税及び地方消費税	277,540	286,389	△ 8,849	△ 3.09
雑支出	3,000	2,000	1,000	50.00
特別損失	16,000	16,008	△ 8	△ 0.05
固定資産売却損	0	8	△ 8	皆減
過年度損益修正損	16,000	16,000	0	0.00
予備費	1,000	1,000	0	0.00
予備費	1,000	1,000	0	0.00
差引損益	2,101,201	1,947,344	153,857	7.90
(税抜純利益)	(1,870,890)	(1,739,485)	(131,405)	

(2) 資本の収支

(単位:千円)

科 目	令和4年度 当初予算(案)①	令和3年度 当初予算②	差引増減 (①-②)	伸率 (%)
資本の収入	7,428,855	7,928,635	△ 499,780	△ 6.30
企業債	3,554,840	4,100,802	△ 545,962	△ 13.31
企業債	2,922,000	2,879,600	42,400	1.47
資本費平準化債	0	0	0	
借換債	632,840	1,221,202	△ 588,362	△ 48.18
国庫補助金	1,943,230	1,815,250	127,980	7.05
国庫補助金	1,943,230	1,815,250	127,980	7.05
他会計出資金	1,786,620	1,797,331	△ 10,711	△ 0.60
※ 他会計出資金	1,786,620	1,797,331	△ 10,711	△ 0.60
負担金及び分担金	139,248	210,312	△ 71,064	△ 33.79
工事負担金	49,100	120,000	△ 70,900	△ 59.08
下水道整備負担金	90,148	90,312	△ 164	△ 0.18
貸付金返還金	4,917	4,911	6	0.12
貸付金返還金	4,917	4,911	6	0.12
固定資産売却代金	0	29	△ 29	皆増
固定資産売却代金	0	29	△ 29	皆増
資本の支出	14,978,627	15,630,910	△ 652,283	△ 4.17
建設改良費	5,607,074	5,442,253	164,821	-3.03
公共下水道築造事務費	135,867	156,957	△ 21,090	△ 13.44
公共下水道築造費	3,754,000	4,056,500	△ 302,500	△ 7.46
流域関連公共下水道築造事務費	24,864	4,864	20,000	411.18
流域関連公共下水道築造費	855,000	160,000	695,000	434.38
特定環境保全公共下水道築造事務費	6,224	5,616	608	10.83
特定環境保全公共下水道築造費	100,500	119,000	△ 18,500	△ 15.55
流域関連特定環境保全公共下水道築造事務費	8,157	14,720	△ 6,563	△ 44.59
流域関連特定環境保全公共下水道築造費	262,000	437,000	△ 175,000	△ 40.05
単独改良費	167,000	328,000	△ 161,000	△ 49.09
受益者負担金徴収事務費	47,082	12,960	34,122	263.29
固定資産購入費	172,180	84,136	88,044	104.64
建設負担金	74,200	62,500	11,700	18.72
企業債償還金	9,364,553	10,181,657	△ 817,104	△ 8.03
企業債償還金	8,731,713	8,960,455	△ 228,742	△ 2.55
企業債償還金(一括償還分)	632,840	1,221,202	△ 588,362	△ 48.18
投資	7,000	7,000	0	0.00
長期貸付金	7,000	7,000	0	0.00
差 引	△ 7,549,772	△ 7,702,275	152,503	1.98
補てん財源	7,549,772	7,702,275	△ 152,503	△ 1.98
当年度分消費税及び地方消費税資本の収支調整額	294,359	273,951	20,408	7.45
過年度分損益勘定留保資金	1,437,720	2,029,867	△ 592,147	△ 29.17
当年度分損益勘定留保資金	5,817,693	5,398,457	419,236	7.77

〔参考〕

	令和4年度①	令和3年度②	差引(①-②)
※一般会計繰入金	6,412,224	6,568,492	△ 156,268

2 令和4年度建設改良事業

公共下水道事業会計（建設改良費）

56億7百万円

I 公共下水道（汚水）の整備 2,964,600千円

- | | |
|------------------|-------------|
| （1）下水道施設（管渠）の改築 | 977,500千円 |
| （2）下水道施設（処理場）の改築 | 1,236,600千円 |
| （3）資源の循環 | 10,000千円 |
| （4）処理場の統廃合と再編 | 42,000千円 |
| （5）下水道整備困難地区の解消 | 698,500千円 |

II 公共下水道（雨水）の整備 1,542,500千円

- | | |
|-----------------|-----------|
| （1）雨水幹線の整備 | 938,500千円 |
| （2）合流式下水道の改善 | 274,000千円 |
| （3）建設部による浸水対策事業 | 330,000千円 |

III 危機管理体制の強化 538,000千円

- | | |
|------------|-----------|
| （1）防災対策の強化 | 538,000千円 |
|------------|-----------|

IV その他 561,974千円

- | | |
|-------------|-----------|
| （1）他工事関連事業 | 167,000千円 |
| （2）人件費、事務費等 | 394,974千円 |

【建設改良費対前年度比較表】

(単位:千円)

事業名		令和4年度 当初予算①	令和3年度 当初予算②	比較増減 ①-②	
I 公共下水道(污水)の整備		2,964,600	2,933,000	31,600	
(1) 下水道施設(管渠)の改築	事業費	977,500	1,221,000	△ 243,500	
	概要	改築延長L=3.6km(豊島町、中島四丁目、花崎外)	改築延長L=5.2km(粟島町一丁目、城北町、岩瀬白山町、今市、浜黒崎、東福沢外)		
(2) 下水道施設(処理場)の改築	全体	1,236,600	599,000	637,600	
	浜黒崎浄化センター	事業費	1,005,000	445,000	560,000
		概要	第一系列水処理設備改築工事、管理本館建築設備外改築工事、汚泥燃料化試験分析検討業務、汚泥消化タンク築造外実施設計業務、No.3汚泥加圧脱水機洗浄装置設置工事、No.4細目スクリーン自動除塵機設備改築工事、水処理施設外脱臭設備改善検討業務	消化タンク基本設計業務、第一系列水処理設備改築(その1)工事、第一系列水処理施設躯体補修実施設計業務、管理本館建築設備外改築実施設計業務、送風機設備改築実施設計業務	
	その他処理場	事業費	75,000	29,000	46,000
		概要	大沢野浄化センター脱水機棟設備外改築実施設計業務、水橋浄化センター管理棟建築設備外改築工事、大山水処理場管理棟外建築設備外改築実施設計業務、小見浄化センター電気設備外改築実施設計業務、楡原浄化センター外監視設備改築工事	大山水処理場汚泥脱水設備改築実施設計業務、水橋浄化センター自家発電設備改築実施設計業務、大沢野浄化センター脱水機棟設備改築実施設計業務	
	ポンプ場	事業費	83,000	100,000	△ 17,000
概要	岩瀬汚水中継ポンプ場管理棟外壁改修工事委託、牛島排水ポンプ場電気設備外改築実施設計業務、連星雨水ポンプ場電気設備外改築実施設計業務	岩瀬汚水中継ポンプ場改築、連星雨水ポンプ場外ストックマネジメント調査・計画策定業務			
神左流域下水道建設負担金		73,600	25,000	48,600	
(3) 資源の循環	事業費	10,000	266,000	△ 256,000	
	概要	下水処理場におけるエネルギー効率化ビジョン策定業務	下水熱導入工事		
(4) 処理場の統廃合と再編	事業費	42,000	360,000	△ 318,000	
	概要	倉垣浄水園外構工事	四方第一処理分区管渠築造工事 L=650m 倉垣浄水園外構工事		
(5) 下水道整備困難地区の解消	事業費	698,500	487,000	211,500	
	概要	新設延長L=2,590m 公共樹設置 (錦中、八尾、大沢野地域)	新設延長L=2,360m 公共樹設置 (錦中、八尾、大沢野地域)		
II 公共下水道(雨水)の整備		1,542,500	1,218,500	324,000	
(1) 雨水幹線の整備	事業費	938,500	778,000	160,500	
	概要	雨水幹線:L=90m 貯留池:1箇所	雨水幹線:L=330m 貯留池:1箇所		
(2) 合流式下水道の改善	事業費	274,000	415,000	△ 141,000	
	概要	管渠改築(浸水対策):L=460m	管渠改築(浸水対策):L=410m		
(3) 建設部による浸水対策事業	事業費	330,000	25,500	304,500	
	概要	下富居排水区下富居貯留池築造工事、富山市浸水対策基本計画策定業務	下富居排水区浸水対策土質調査・実施設計業務		
III 危機管理体制の強化		538,000	646,000	△ 108,000	
(1) 防災対策の強化	事業費	538,000	646,000	△ 108,000	
	概要	耐震化工事 下水処理場、雨水ポンプ場耐震診断業務	耐震化工事 下水処理場、雨水ポンプ場耐震診断業務		
IV その他		561,974	644,753	△ 82,779	
(1) 他工事関連事業	事業費	167,000	328,000	△ 161,000	
	概要	物件移転補償に伴う布設替	物件移転補償に伴う布設替		
(2) 人件費、事務費等	事業費	394,974	316,753	78,221	
	概要	人件費、事務費、固定資産購入費等	人件費、事務費、固定資産購入費等		
建設改良費 合計		5,607,074	5,442,253	164,821	

公共下水道事業会計(建設改良費)

I 公共下水道(汚水)の整備

(1) 下水道施設(管渠)の改築

事業費	977,500 千円
(うち補助事業)	574,500 千円)

汚水を確実、安定、持続的に処理場へ流すために、劣化状況等の調査を行い、計画的に管渠等の改築を進めていきます。

令和4年度事業の概要

(ア)下水道管の改築

	R2年度(実績)	R3年度(見込)	R4年度
調査・計画延長	約40km	約50km	約50km
改築工事延長	5.9km	5.2km	3.6km

①調査・計画

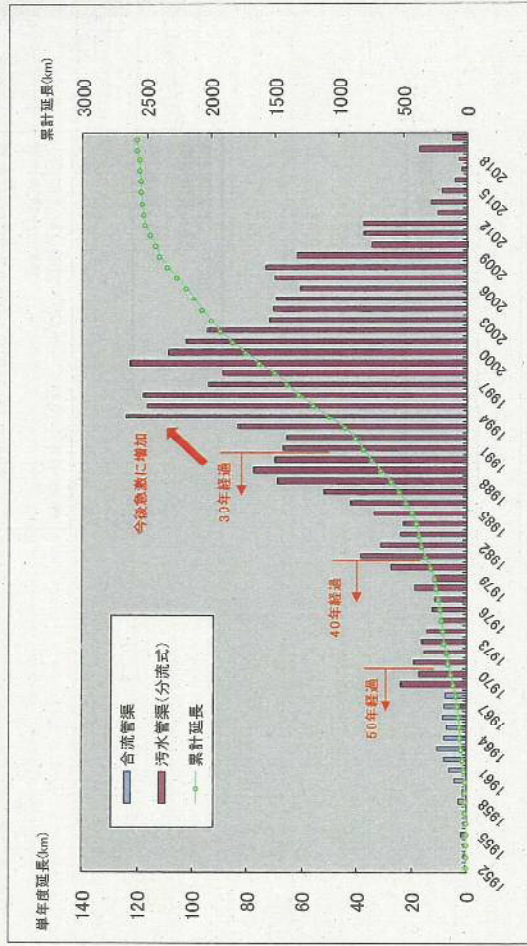
富山市下水道ストックマネジメント計画に基づき、布瀬処理分区外の管渠を対象に調査を実施。

②改築工事

令和3年度に引き続き、豊田処理分区、奥田処理分区、大山処理区を対象に老朽化が著しく、改築の優先度が高い管の改築工事を実施。

老朽下水道管対策事業

1. 富山市の下水道管路布設年度 (R02末)



コンクリート管の内訳 (R08末時点) 単位: km

経過年数	~50年	49年~40年	39年~30年	29年~20年	19年~10年	9年~1年	合計
汚水管渠(分流式)	129.5	192.9	167.5	9.6	6.0	0.0	505.4
累計延長	26%	322.4	489.8	499.4	505.4	-	505.4
累計割合	26%	64%	97%	99%	100%	100%	100%

※管理延長を算出する上での基準年は、R08年度事業別のもの

2. 今後の老朽下水道管対策の進め方

- 1) 合流式下水道区域
 - 「下水道浸水被害軽減総合事業」と「下水道総合地震対策事業」の事業制度も活用し、流下能力増強や耐震化も合わせた効率的な老朽下水道管の改築を進めていく。
- 2) 分流式下水道区域
 - 下水道管は布設経過年数30年頃から道路陥没の頻度が高まる。よって対策事業は、30年以上経過した管から「下水道ストックマネジメント支援制度」を活用し、テレビカメラ調査により管の劣化状況を確認し改築実施計画を策定した上で、交付金により劣化状況の著しい老朽下水道管の改築を耐震化も合わせて進めていく。

3. 調査及び工事の進捗状況

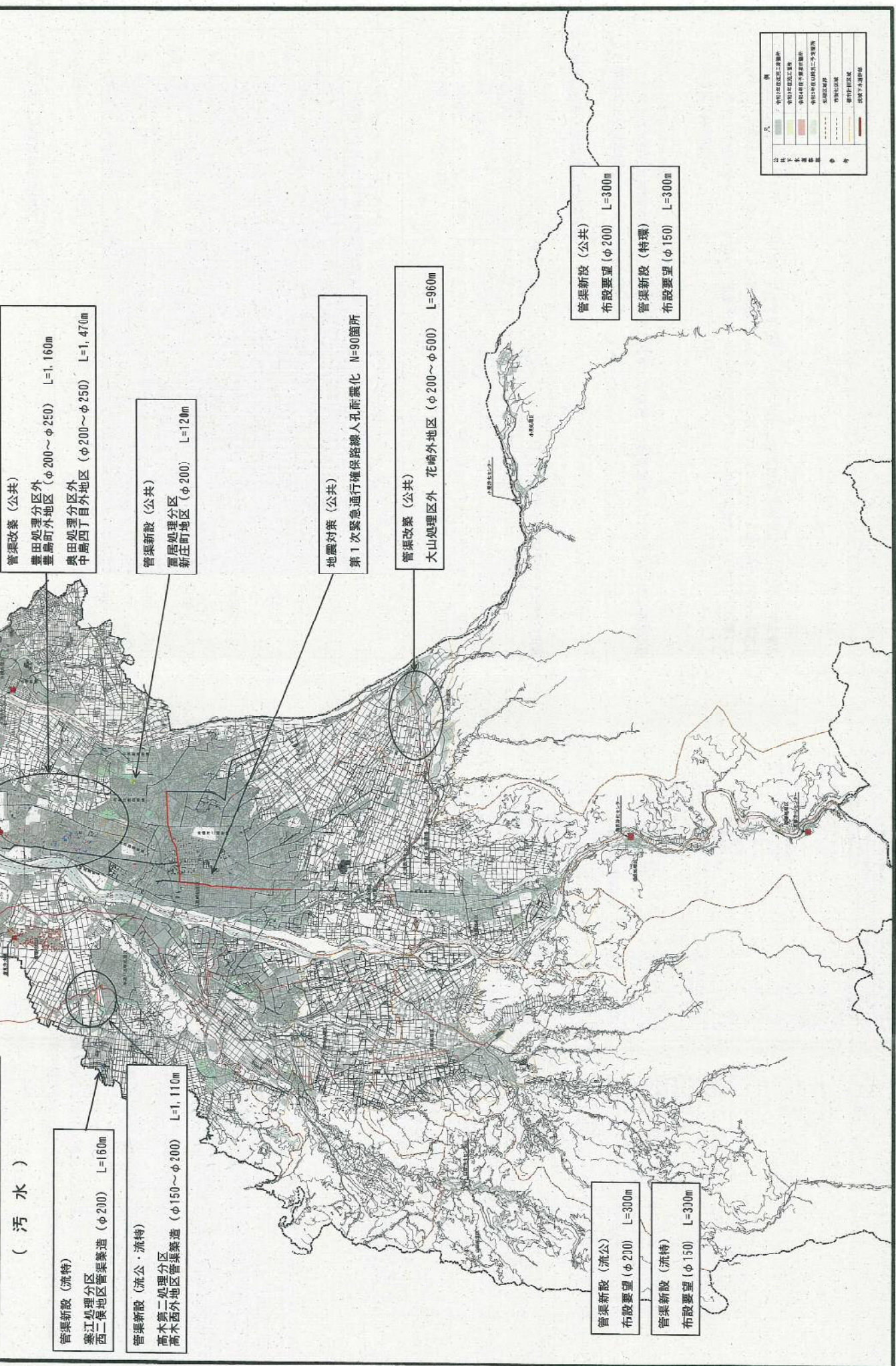
富山市ストックマネジメント計画に基づき、布設経過年数や管種による劣化の進み具合に加え、機能不全に陥った場合の社会的影響度を考慮し、重要と判断された下水道管の調査を行う。

調査・点検	延長(km)		調査		工事		調査		工事	
	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
延長(km)	3.7	15.0	22.5	43.0	47.1	47.1	47.1	47.1	47.1	47.1
調査費(百万円)	74	74	62	137	105	72	229	229	229	200
累計延長(km)	3.7	22.6	45.3	94.3	120.5	154.3	203.7	250.8	307.9	355.0
累計調査費(百万円)	14	88	150	283	388	461	692	866	1,095	1,295
工事費(百万円)	0	0	0	0	1.7	1.9	2.2	2.2	5.4	5.2
累計工事費(百万円)	0	0	0	0	1.7	3.6	5.8	8.0	13.4	18.6
累計調査費(百万円)	0.0	0.0	0.8	2.7	4.3	6.9	10.5	16.8	23.2	31.1
工事費(百万円)	0	0	0	0	94	329	590	915	1,327	3,002
累計工事費(百万円)	14	74	136	273	388	493	593	775	1,068	1,826
累計費(百万円)	14	88	244	612	918	1,316	1,979	2,754	3,890	4,932

4. 施工実績

事業年度	実施地区・管理種別	調査延長 (km)	調査費 (百万円)	工事延長 (km)	工事費 (百万円)
H22	美濃町地区分区分区 (旧藤野町)	3.7	0.5	0.0	0.0
H23	新藤野地区分区分区 (新藤野町)	5.1	4.3	0.0	0.0
H24	水鏡第1地区分区分区 (水鏡町の町内)	2.4	1.5	0.0	0.0
H25	豊田地区分区分区 (豊田町)	3.1	0.1	0.0	0.0
H26	石川第2地区分区分区 (石川町)	1.9	0.5	0.0	0.0
H27	丹波地区分区分区 (丹波町)	6.3	0.1	0.0	0.0
H28	水鏡第2地区分区分区 (水鏡町の町外)	3.7	0.3	0.0	0.0
H29	豊田地区分区分区 (行徳町)	2.2	0.2	0.0	0.0
H30	いたち川第3地区分区分区 (豊田町)	80.4	3.0	0.0	0.0
H31	豊田地区分区分区 (豊田町)	2.3	0.1	0.0	0.0
H32	豊田地区分区分区 (上豊田町)	1.5	0.1	0.0	0.0
H33	不二地区分区分区 (豊田町)	1.5	0.3	0.0	0.0
H34	水鏡第3地区分区分区 (水鏡町)	54.1	3.3	0.0	0.0
H35	いたち川第4地区分区分区 (水鏡町)	12.0	1.1	0.0	0.0
H36	豊田地区分区分区 (豊田町)	1.1	0.3	0.0	0.0
H37	豊田地区分区分区	4.1	0.2	0.0	0.0
H38	豊田地区分区分区	43.1	3.8	0.0	0.0
H39	豊田地区分区分区 (豊田町)	33.7	2.7	0.0	0.0
H40	豊田地区分区分区 (豊田町)	2.4	0.5	0.0	0.0
H41	水鏡第1地区分区分区	24.4	2.9	0.0	0.0
H42	豊田地区分区分区	10.1	0.2	0.0	0.0
H43	豊田地区分区分区	16.4	1.0	0.0	0.0
H44	豊田地区分区分区	9.1	0.2	0.0	0.0
H45	不二地区分区分区	3.7	0.9	0.0	0.0
H46	豊田地区分区分区	2.1	0.1	0.0	0.0
H47	豊田地区分区分区	14.5	1.2	0.0	0.0
H48	豊田地区分区分区	48.1	4.1	0.0	0.0
H49	不二地区分区分区	10.3	1.0	0.0	0.0
H50	計画未実施	433.8	-	0.0	-
H51	計画未実施	433.8	46.6	0.0	0.0

富山市公共下水道施工予定箇所図
(汚 水)



管渠改築 (公共)
 豊田処理分区分外
 豊島町外地区 (φ200~φ250) L=1,160m
 奥田処理分区分外
 中高四丁目外地区 (φ200~φ250) L=1,470m

管渠新設 (公共)
 富居処理分区分外
 新庄町地区 (φ200) L=120m

地震対策 (公共)
 第1次緊急通行確保路線人孔耐震化 N=90箇所

管渠改築 (公共)
 大山処理分区分外
 花崎外地区 (φ200~φ500) L=960m

管渠新設 (公共)
 布設要望 (φ200) L=300m

管渠新設 (特環)
 布設要望 (φ150) L=300m

管渠新設 (流特)
 豊江処理分区分外
 西二俣地区管渠築造 (φ200) L=160m

管渠新設 (流公・流特)
 高木第二処理分区分外
 高木西外地区管渠築造 (φ150~φ200) L=1,110m

管渠新設 (流公)
 布設要望 (φ200) L=300m

管渠新設 (流特)
 布設要望 (φ150) L=300m

備 考	
○	管渠改築・新設工事箇所
□	管渠改築工事箇所
□	管渠新設工事箇所
□	管渠改築・新設工事箇所
□	管渠改築・新設工事箇所
□	管渠改築・新設工事箇所
□	管渠改築・新設工事箇所
□	管渠改築・新設工事箇所

I 公共下水道(汚水)の整備

(2) 下水道施設(処理場)の改築

事業費 1,236,600 千円

(うち補助事業 1,080,000 千円)

汚水を確実、安定、持続的に処理するため、施設の老朽度や将来の普及率を勘案しながら、計画的に施設の改築や増設を行います。

令和4年度事業の概要

(ア) 下水処理場の改築

1,153,600 千円

① 浜黒崎浄化センター

1,005,000 千円

・第1系列水処理設備改築(その1)工事(継続 R3~R4:2年目)

継続事業費

(単位:千円)

	R3年度	R4年度	合計
事業費	363,000	312,000	675,000

・第1系列水処理設備改築(その2)工事(継続 R4~R5:1年目)

継続事業費

(単位:千円)

	R4年度	R5年度	合計
事業費	176,000	149,000	325,000

・管理本館建築設備外改築工事(継続 R4~R5:1年目)

継続事業費

(単位:千円)

	R4年度	R5年度	合計
事業費	176,000	117,000	293,000

・汚泥燃料化試験分析検討業務

・汚泥消化タンク築造外実施設計業務

・No.3汚泥加圧脱水機洗浄装置設置工事

・No.4細目スクリーン自動除塵機設備改築工事

・水処理施設外脱臭設備改善検討業務

② 水橋浄化センター

13,000 千円

・管理棟建築設備外改築工事

③ 大沢野浄化センター

17,000 千円

・脱水機棟設備外改築実施設計業務

④ 大山下水処理場

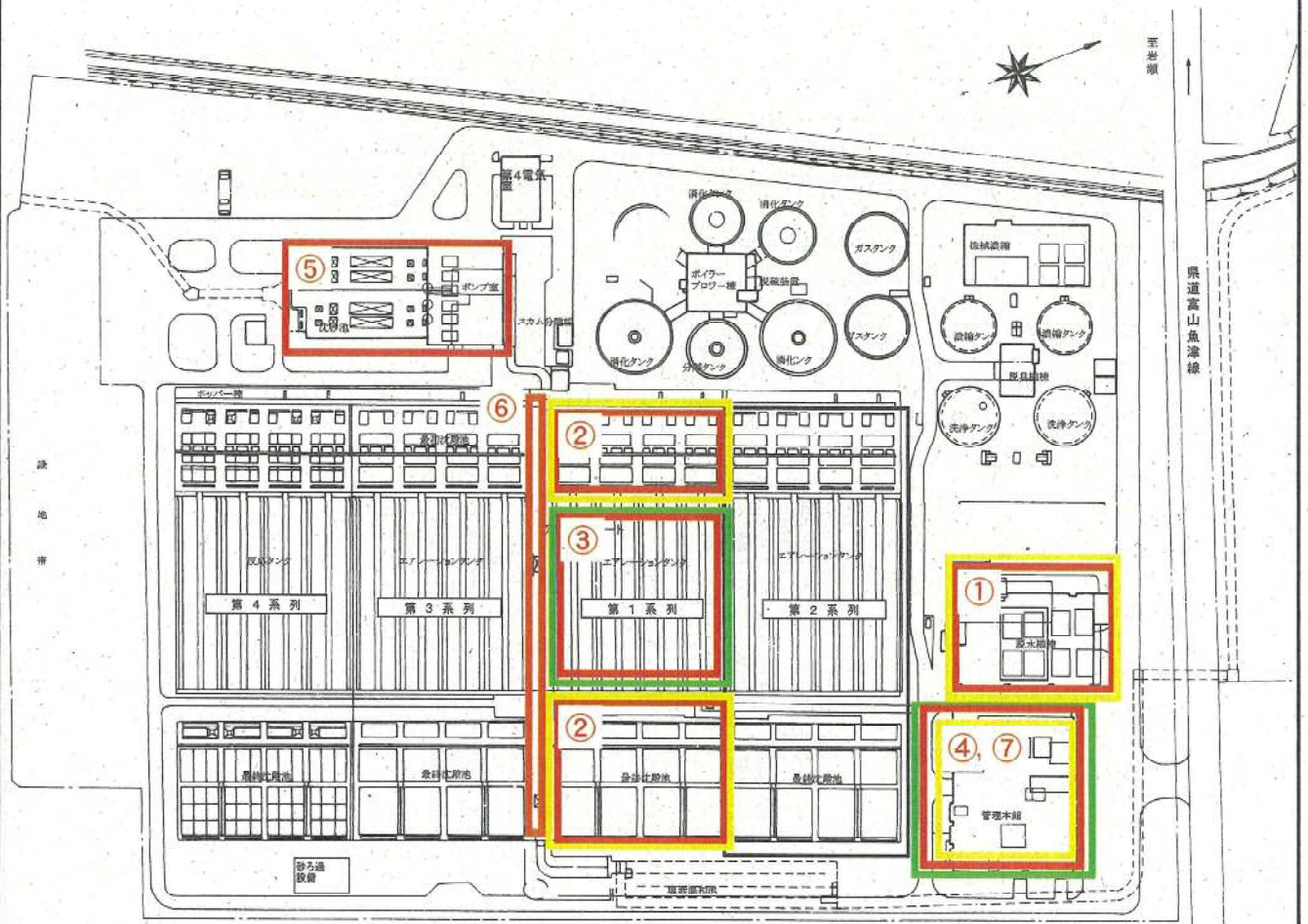
12,000 千円

・管理棟外建築設備外改築実施設計業務

⑤ 山田浄化センター	4,000 千円
・ストックマネジメント調査・計画策定業務	
⑥ 小見浄化センター	14,000 千円
・電気設備外改築実施設計業務	
⑦ 楡原浄化センター外	15,000 千円
・監視設備改築工事	
⑧ 神通川左岸流域下水道建設負担金	73,600 千円
・幹線管渠耐震化工事	
・神通川左岸浄化センター 汚泥処理棟耐震実施設計	

(イ)ポンプ場の改築	83,000 千円
① 岩瀬汚水中継ポンプ場	56,000 千円
・管理棟外壁改修工事	
② 七軒町雨水ポンプ場外	7,000 千円
・ストックマネジメント調査・計画策定業務	
③ 牛島排水ポンプ場	9,000 千円
・電気設備外改築実施設計業務	
④ 呉羽駅前雨水ポンプ場外	5,000 千円
・ストックマネジメント調査・計画策定業務	
⑤ 速星雨水ポンプ場	6,000 千円
・電気設備外改築実施設計業務	

浜 黒 崎 浄 化 セ ン タ ー



(資源循環)

- ① No. 3汚泥加圧脱水機洗浄装置設置工事

(水質保全)

- ② 第1系列水処理設備改築(その1)工事(R3・4継続)
- ③ 第1系列水処理設備改築(その2)工事(R4・5継続)
- ④ 管理本館建築設備外改築工事(R4・5継続)
- ⑤ No. 4細目スクリーン自動除塵機設備改築工事

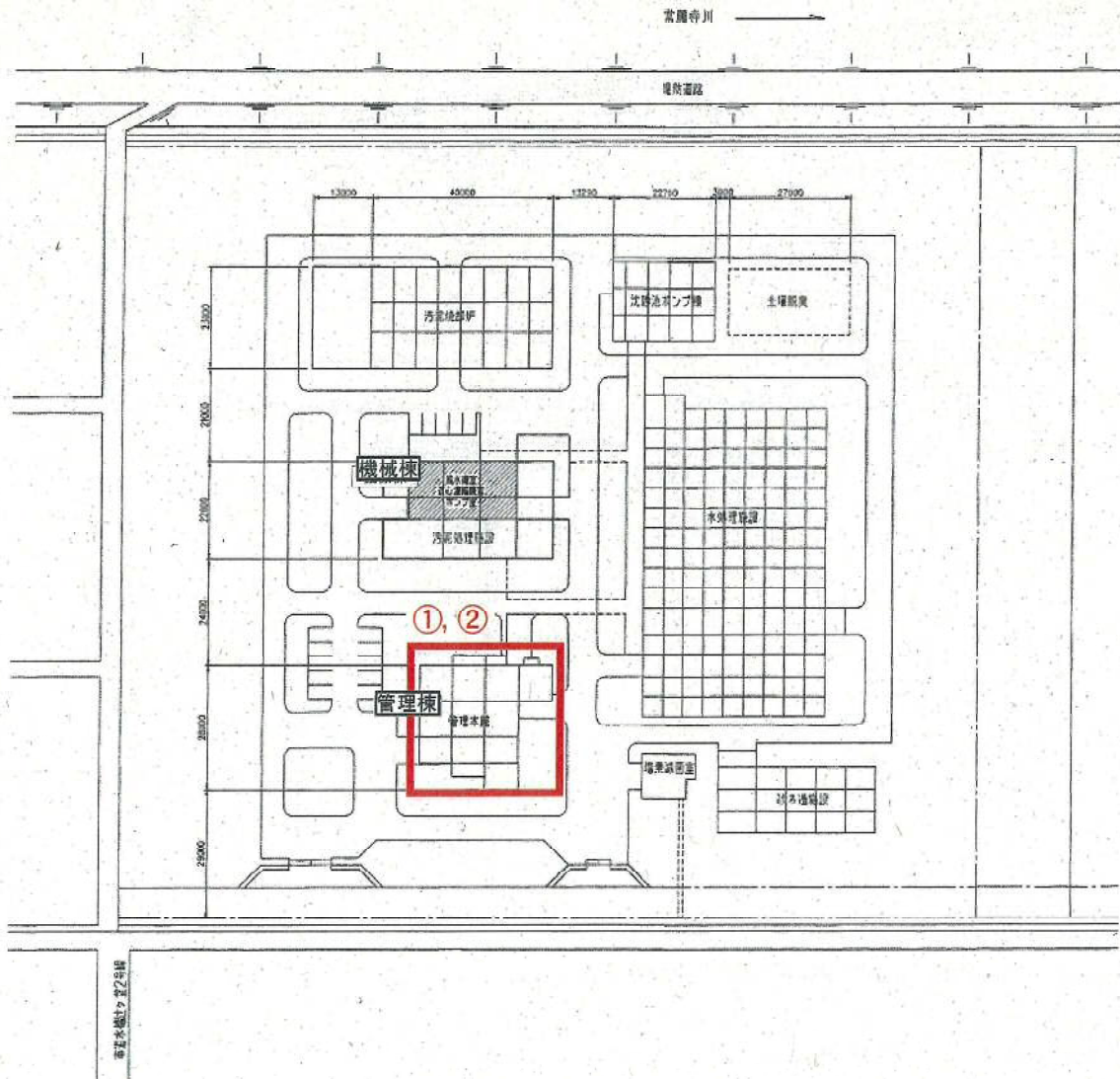
(防災対策の強化)

- ⑥ 緊急放流管耐震化工事
- ⑦ 管理本館耐震化(その2)工事(R3~5継続)





凡 例

	令和2年度までに施工済み箇所
	令和3年度施工予定箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度施工予定箇所
	令和6年度以降施工予定箇所

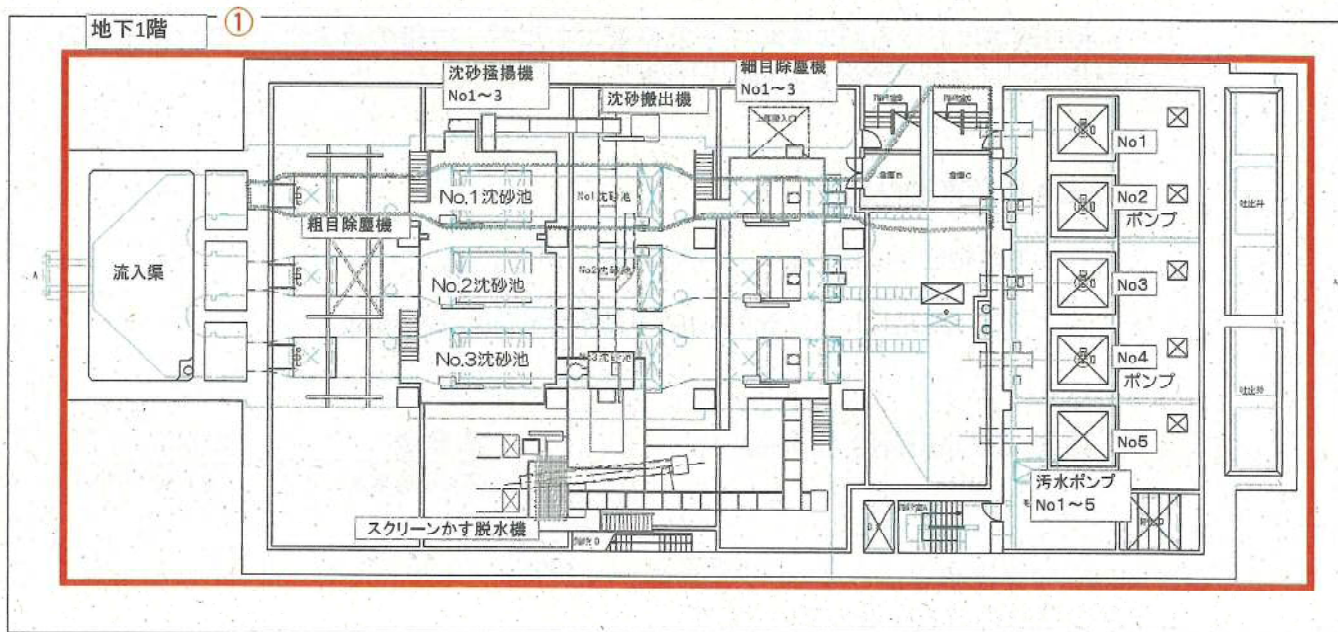
水橋浄化センター








- (水質保全)
① 管理棟建築設備外改築工事
- (防災対策の強化)
② 管理棟耐震化工事

凡 例	
	令和2年度までに施工済み箇所
	令和3年度施工予定箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度施工予定箇所
	令和6年度以降施工予定箇所

岩瀬汚水中継ポンプ場



(ポンプ場の改築)
① 管理棟外壁改修工事

凡 例	
	令和2年度までに施工済み箇所
	令和3年度施工予定箇所
	令和4年度施工予定箇所
	令和5年度施工予定箇所
	令和6年度以降施工予定箇所

I 公共下水道(汚水)の整備

(3) 資源の循環

事業費	10,000 千円
(うち補助事業)	10,000 千円)

下水処理場における創エネルギー及び省エネルギー技術の導入など、エネルギーの効率化に向けた取り組みを進めていきます。

令和4年度事業の概要

(ア)下水処理場におけるエネルギー効率化

- ・下水処理場におけるエネルギー効率化ビジョン策定業務

(4) 処理場の統廃合と再編

事業費	42,000 千円
(うち補助事業)	6,000 千円)

将来にわたり安定的なサービスを提供していくため、公共下水道や地域し尿処理施設等の施設の統合を進めていきます。

令和4年度事業の概要

(ア)処理場の統廃合

- ・倉垣浄水園外構工事

(5) 下水道整備困難地区の解消

事業費	698,500 千円
(うち補助事業)	253,500 千円)

生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るために、整備困難地区の解消や開発等に伴う新たな下水道の整備を計画的に行います。

令和4年度事業の概要

(ア)未整備・整備困難地区の解消

- ・富居処理分区新庄町地区管渠築造工事 120m
- ・富居処理分区上飯野新町汚水中継ポンプ所築造工事
- ・高木第二処理分区高木西外地区管渠築造工事 1,110m
- ・寒江処理分区西二俣地区管渠築造工事 160m
- ・布設要望地区下水管布設工事 1,200m

II 公共下水道(雨水)の整備

(1) 雨水幹線の整備

事業費	938,500 千円
(うち補助事業)	896,500 千円)

過去の浸水履歴をもとに、浸水の危険性・浸水対策の効果等を整理し、計画的に雨水幹線等を整備することにより、浸水被害の低減を図ります。

令和4年度事業の概要

(ア)雨水幹線等の整備

	R2年度(実績)	R3年度(見込)	R4年度
管渠施工延長	252m	537m	90m
貯留施設整備数	0箇所	1箇所	1箇所
整備面積	8ha	17ha	2ha
都市浸水対策達成率	77.2%	77.5%	77.5%

(参考)全国の都市浸水対策達成率(R2年度末)

全国 都市浸水対策達成率	約60%
-----------------	------

※ 都市浸水対策達成率:大雨に対して安全である地区の面積の割合

①雨水管渠

- ・下新第一排水区下新川雨水幹線築造工事 60m
- ・大沢野東排水区大沢野東第1雨水幹線築造工事 30m
- ・辻ヶ堂排水区辻ヶ堂第1排水樋門設備改良工事

②雨水貯留施設

- ・新鍛冶川排水区呉羽苑貯留池築造工事(継続 R4~R5:1年目) V=1,200m³

継続事業費 (単位:千円)

	R4年度	R5年度	合計
事業費	570,000	175,000	745,000

II 公共下水道(雨水)の整備

(2) 合流式下水道の改善

事業費	274,000 千円
(うち補助事業)	136,000 千円)

合流式下水道区域の浸水被害の軽減を図るため、排水能力の向上を目的とした管路等の改築を計画的に実施します。

令和4年度事業の概要

(ア)合流式下水道の改善

① 浸水対策

269,000 千円

	R2年度(実績)	R3年度(見込)	R4年度
浸水対策 工事延長	1,031m	616m	460m

- ・松川第二排水区鹿島町二丁目外地区浸水対策工事 460m
- ・松川第一排水区雨水貯留施設等基本設計業務

② 水質調査

5,000 千円

合流式下水道雨天時放流水現況調査業務

(3) 建設部による浸水対策事業

事業費	330,000 千円
(うち補助事業)	330,000 千円)

富山市浸水対策基本計画に基づき、下水道事業を活用した浸水対策事業を行うことにより、早期に浸水被害の低減を図ります。

令和4年度事業の概要

(ア)建設部による浸水対策事業

① 浸水対策

330,000 千円

- ・下富居排水区下富居貯留池築造工事(継続R4~R6:1年目) V=4,100m³
継続事業費 (単位:千円)

	R4年度	R5年度	R6年度	合計
事業費	280,000	320,000	200,000	800,000

- ・富山市浸水対策基本計画策定業務

富山市公共下水道施工予定箇所図

(雨水)

雨水貯留施設
新鏡治川排水区
吳羽苑貯留池 V=1,200m³

雨水貯留施設
下置居排水区
下置居貯留池 V=4,100m³

雨水管渠
下新第一排水区
下新川雨水幹線 □3,500×1,700 L=60m

雨水管渠
松川第二排水区
鹿島町二丁目外地区 浸水対策 φ300~φ450 L=460m

雨水管渠
大沢野東排水区
大沢野東第1雨水幹線 凹4,000×2,500 L=30m

凡	例
■	令和5年度建設工事箇所
■	令和4年度建設工事箇所
■	令和3年度建設工事箇所
■	令和2年度建設工事箇所
■	令和1年度建設工事箇所
■	昭和三十九年度建設工事箇所
■	昭和三十八年度建設工事箇所
■	昭和三十七年度建設工事箇所
■	昭和三十六年度建設工事箇所
■	昭和三十五年度建設工事箇所
■	昭和三十四年度建設工事箇所
■	昭和三十三年度建設工事箇所
■	昭和三十二年度建設工事箇所
■	昭和三十一年度建設工事箇所
■	昭和三十年度建設工事箇所
■	昭和二十九年建設工事箇所
■	昭和二十八年建設工事箇所
■	昭和二十七年建設工事箇所
■	昭和二十六年建設工事箇所
■	昭和二十五年建設工事箇所
■	昭和二十四年度建設工事箇所
■	昭和二十三年建設工事箇所
■	昭和二十二年建設工事箇所
■	昭和二十一年建設工事箇所
■	昭和二十年建設工事箇所
■	昭和十九年度建設工事箇所
■	昭和十八年度建設工事箇所
■	昭和十七年度建設工事箇所
■	昭和十六年度建設工事箇所
■	昭和十五年度建設工事箇所
■	昭和十四年度建設工事箇所
■	昭和十三年建設工事箇所
■	昭和十二年建設工事箇所
■	昭和十一年建設工事箇所
■	昭和十年建設工事箇所
■	昭和九年建設工事箇所
■	昭和八年建設工事箇所
■	昭和七年建設工事箇所
■	昭和六年建設工事箇所
■	昭和五年建設工事箇所
■	昭和四年建設工事箇所
■	昭和三年建設工事箇所
■	昭和二年建設工事箇所
■	昭和一年建設工事箇所
■	昭和零年度建設工事箇所
■	昭和零年度以前建設工事箇所

Ⅲ 危機管理体制の強化

(1) 防災対策の強化

事業費	538,000 千円
(うち補助事業)	508,000 千円)

自然災害や事故などの危機発生に対して、迅速かつ的確に対応していくため、危機管理体制を整備し、被害の発生防止及び軽減を目指します。防災対策の強化として、地震時及び洪水時における下水道施設の被害を軽減するため、下水道施設の耐震化や耐水化を行います。

令和4年度事業の概要

(ア)下水道施設の耐震化	507,000 千円
--------------	------------

- ・浜黒崎浄化センター管理本館耐震化(その2)工事(継続R3~R5:2年目)
継続事業費 (単位:千円)

	R3年度	R4年度	R5年度	合計
事業費	55,000	66,000	38,300	159,300

- ・第一次緊急通行確保路線人孔耐震化工事 90箇所
- ・浜黒崎処理区管路施設耐震化診断業務
- ・岩瀬第一雨水幹線外雨水管路施設耐震化診断業務
- ・浜黒崎浄化センター緊急放流管耐震化工事
- ・水橋浄化センター管理棟耐震化工事
- ・大沢野浄化センター自家発電設備実施設計業務
- ・七軒町雨水ポンプ場耐震診断業務
- ・マンホールトイレ設置実施設計業務、工事

(イ)下水道施設の耐水化	31,000 千円
--------------	-----------

- ・浜黒崎浄化センター外耐水化実施設計業務

VI その他

1 富山市水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件

(1) 趣旨

富山市公共下水道事業計画の変更に伴い、予定処理区域面積、計画処理人口及び1日最大処理水量の数値を改正するもの。

(2) 公共下水道事業の予定処理区域面積等

ア 予定処理区域面積

「10,969.0ヘクタール」 → 「10,981.4ヘクタール」

イ 計画処理人口

「385,540人」 → 「386,330人」

ウ 1日最大処理水量

「263,494立方メートル」 → 「264,257立方メートル」

(3) 施行期日 令和4年4月1日